

2 総 則

開催の趣旨

国民体育大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするスポーツの祭典である。

岩手県で開催する第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」は、東日本大震災津波からの復興の取組を進める中で、「広げよう感動。伝えよう感謝。」のスローガンのもと、「復興の力となる国体」、「岩手のスポーツ振興に寄与する国体」、「岩手の魅力発信と県民総参加による手づくりの国体」という3つの大きな柱を掲げ、県民の総力を結集して、夢と感動を与え、復興のシンボルとなる大会を目指して開催する。

実施方針

1 実施競技

正 式 競 技	特別競技
陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、クレール射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン	高等学校野球

2 会期及び会場地

会 期	会 場 地	会場地数
平成 28 年 10 月 1 日 (土) ～10 月 11 日 (火) 〔11 日間〕	盛岡市、宮古市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、金ヶ崎町、山田町、岩泉町、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町	12 市 10 町 3 村
※ 水泳競技会は下記日程内で実施 平成 28 年 9 月 4 日 (日) ～9 月 11 日 (日) 〔8 日間〕	盛岡市、釜石市	2 市

3 競技方法

各競技実施要項に示す方法とし、正式競技は都道府県対抗で実施する。

4 ドーピング検査の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査及びアンチ・ドーピング教育・情報提供・啓発活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」及び別に定める「国民体育大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例」(TUE) の手続きを行うこと。

各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民体育大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が未成年者（20歳未満）の場合、親権者及び本人が署名、捺印した同意書を所持すること。

5 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

選手及び監督の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「第71回国民体育大会参加資格、所属都道府県及び年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【 公益財団法人日本体育協会ホームページ <http://www.japan-sports.or.jp/> 】

(1) 参加資格

ア 日本国籍を有する者であることとするが、選手及び監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(ア) 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」（「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。）

(イ) 少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

- a 「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍する学生又は生徒で、「8 参加申込方法」で定めた参加申込締切時に1年以上在籍していること。
- b 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」又は「家族滞在」（中学3年生）に該当していること。

(ウ) 成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

- a 少年種別年齢域にあった時点において前号(イ)に該当していた者であること。
- b 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

[注] 上記(ウ)b について、大学及び専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ 選手及び監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）と体育（スポーツ）協会会長（代表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ 第69回又は第70回大会（都道府県大会及びブロック大会を含む。）において選手又は監督として参加した者は、次の場合を除き、第69回又は第70回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ア) 成年種別

- a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者

b 結婚又は離婚に係る者

[注]a 及び b は当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

c ふるさと選手制度を活用する者(別記1「国民体育大会ふるさと選手制度」による。)

[注] 別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者(別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」による。)

(イ) 少年種別

a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者

b 結婚又は離婚に係る者

c 一家転住に係る者(別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」による。)

[注]a から c は当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

d JOC エリートアカデミーに在籍する者(別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。)

e 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者(別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」による。)

エ 選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ 選手及び監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会及び本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。

カ 選手及び監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ 上記のほか、選手については次のとおりとする。

(ア) 都道府県大会及びブロック大会に参加し、これを通過した者であること。

(イ) 健康診断を受け、健康であることが証明された者であること。

(ウ) ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ク 上記のほか、監督については公益財団法人日本体育協会(以下「日本体育協会」という。)公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

(2) 所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア 成年種別

(ア) 居住地を示す現住所

(イ) 勤務地

(ウ) ふるさと(別記1「国民体育大会ふるさと選手制度」による。)

[注] 別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

イ 少年種別

(ア) 居住地を示す現住所

(イ) 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地(以下「学校所在地」という。)

(ウ) 勤務地

(エ) 別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地

※ 「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、平成28年4月30日以前から本大会終了時(平成28年10月11日)まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、又は通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

[成年種別]

a 別記4「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

b 別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

[少年種別]

a 一家転住に係る者

b 別記4「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

c 別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

(3) 選手の年齢基準

ア 選手の年齢基準については、下記を原則とする。

(ア) 成年種別に参加する者は、平成10年4月1日以前に生まれた者とする。

(イ) 少年種別に参加する者は、平成10年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた者とする。

(ウ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、平成28年4月1日を基準とする。

イ 日本体育協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学3年生(平成13年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた者)とする。

(4) 前記の各事項に疑義のあるときは、日本体育協会及び当該競技団体が調査・審議のうえ、日本体育協会がその可否を決定する。

別記1【国民体育大会ふるさと選手制度】

(1) 成年種別年齢域の選手は、国民体育大会開催基準要項細則第3項〔国民体育大会開催基準要項第8項第1号及び第10項第4号(参加資格及び年齢基準等)〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。

ア 居住地を示す現住所

イ 勤務地

ウ ふるさと

(2) 「ふるさと」とは、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOC エリートアカデミーに係る選手については、別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第3項により取り扱うものとする。

(3) 我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者及び「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。

- (4) 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。
- なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。
- (5) 「ふるさと」から参加する選手は、国民体育大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③(国内移動選手の制限)に抵触しないものとする。
- (6) ふるさと選手制度の活用については、原則として、1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までとする。
- (7) 参加都道府県は「ふるさと選手」を別に定める様式により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本体育協会宛に提出する。

別記2【「一家転住等」に伴う特例措置】

転校への特例

- 1 以下の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限(国民体育大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③(国内移動選手の制限)に抵触しないものとする。
- (1) この特例の対象は、少年種別年齢域への参加者に限る。
- (2) 本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。
- なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。
- ア 親の転勤による一家の転居
- イ 親の結婚、離婚による一家の転居
- ウ 上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居
- (3) 転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。
- ア 本特例を受けようとする参加者は、下記2(1)の場合は転居元、下記2(2)の場合は転居先が属する都道府県体育(スポーツ)協会(以下「都道府県体育協会」という。)及び都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。
- イ 報告を受けた都道府県体育協会及び都道府県競技団体は、下記2(1)の場合は転居先、下記2(2)の場合は転居元が属する都道府県体育協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。
- 2 本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。
- (1) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。
- ア 転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合
- イ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合
- ウ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合
- (2) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。
- ア 転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記3【JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置】

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、次の(1)に該当する者については、国民体育大会開催基準要項細則第3項〔国民体育大会

開催基準要項第 8 項第 1 号及び第 10 項第 4 号（参加資格及び年齢基準等）及び別記 1 「国民体育大会ふるさと選手制度」に関し、次の(2)～(4)の特例を適用する。

(1) 対象者

- ア 少年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーに在籍する者
- イ 成年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者

(2) 少年種別年齢域の選手の所属都道府県

(1)アに定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

(3) 成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

(1)イに定める成年種別年齢域の選手は、別記 1 「国民体育大会ふるさと選手制度」(2)に定める卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

なお、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

(4) 国内移動選手の制限に係る例外適用

(1)アに定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、国民体育大会開催基準要項細則第 3 項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

[注] (1)イに定める成年種別年齢域の選手については、国民体育大会開催基準要項細則第 3 項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）の規定に従い取り扱うものとする。

別記 4 【トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置】

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

1 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- (1) 第 30 回オリンピック競技大会（2012 年・ロンドン）に参加した者
 - (2) 平成 28 年 4 月 30 日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者
 - ア JOC アスリートプログラム強化指定選手
 - イ 各競技（種目）における国内ランキング上位 10 位以内の者
 - ウ 中央競技団体が定めた強化指定選手
- ※ 強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

2 特例の内容

(1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会及びブロック大会を経ずに国民体

育大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手又はチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

(2) 資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」又は「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

(ア) 平成 28 年 4 月 30 日以前から大会終了時（平成 28 年 10 月 11 日）まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

- a 自ら所有する住居、又は自らの名義で住居を賃借していること
- b 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
- c 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
- d 当該住居に主要な家財道具が存すること

(イ) 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

(ア) 平成 28 年 4 月 30 日以前から大会終了時（平成 28 年 10 月 11 日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。

(イ) 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民体育大会開催基準要項細則第 3 項－(1)－1)－③のとおりとする。

別記 5 【東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置】

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況及び影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の 6 県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 以下の選手及び監督は、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たすこ

とができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

- (ア) 平成 23 年 3 月 11 日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の学校教育法第 1 条に規定する学校に在籍していた者であること。
- (イ) 災害が発生しなかったと仮定した場合、平成 28 年 4 月 30 日以前から各競技会終了時まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。
- (2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手及び監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、第 69 回及び第 70 回大会に当該特例対象県から参加していても、国民体育大会開催基準要項細則第 3 項－（１）－１）－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

- (ア) 平成 23 年 3 月 11 日時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第 1 条に規定する学校に在籍していた者であること。
- (イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が平成 28 年 4 月 30 日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」及び「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出又は学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本体育協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第 71 回大会に参加した者が、第 72 回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民体育大会開催基準要項細則第 3 項－（１）－１）－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

<例> ○ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○ 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする場合

○ 他の都道府県に避難先を移す場合

- (3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において中学校または高等学校を卒業した者が、

成年種別年齢域に達した際、「国民体育大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

- ① 卒業中学校または卒業高等学校の所在地
- ② 災害の発生した時点で在籍していた中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記②の学校所在地を「ふるさと」登録した場合についても、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

平成 23～24 年度に、避難等による移動先の属する都道府県において中学校または高等学校を卒業した者。

6 各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

- (1) 次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア 競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第 1 位から第 8 位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものに加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第 3 位以下を切り捨てる。

		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位
種別	4 人以下	24 点	21 点	18 点	15 点	12 点	9 点	6 点	3 点
	5 人以上 7 人以下	40 点	35 点	30 点	25 点	20 点	15 点	10 点	5 点
	8 人以上	64 点	56 点	48 点	40 点	32 点	24 点	16 点	8 点
種目	—————	8 点	7 点	6 点	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点

〔注〕「種別」：種別などに与える競技得点 「種目」：種目などに与える競技得点

イ 参加得点

参加得点は 10 点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

- (2) 各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。

ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。

- (3) 参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民体育大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7 表彰

- (1) 冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第 1 位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第 1 位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。

- (2) 冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第 1 位から第 8 位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

- (3) 各正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に、国民体育大会会長トロフィーを授与する。
- (4) 各正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
- (5) 各競技の各種別及び各種目などの第1位から第8位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む。）の氏名を記載したものを都道府県用に1枚、更にその都道府県名と個人名を記載したもの、又は都道府県名とチーム全員（監督を含む。）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

8 参加申込方法

- (1) 都道府県の体育協会会長（代表者）及び各競技団体会長（代表者）は、連署の上、都道府県大会又はブロック大会において選抜された者及び公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長宛に申込みものとする。
- (2) 参加申込は、定められた締切日までに国民体育大会参加申込システムにより行う。
- (3) 参加申込締切日

締 切 日	競 技
① 平成 28 年 8 月 17 日 (水)	水泳、セーリング、自転車、相撲、カヌー、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン
② 平成 28 年 9 月 1 日 (木)	陸上競技、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、アーチェリー、空手道、クレール射撃、なぎなた、高等学校野球

- (4) 参加申込様式は、日本体育協会が実施競技団体と協議の上、作成する。
- (5) 参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、次のア～ウ宛に所定の様式にて届け出なければならない。
 - ア 全国を統轄する各中央競技団体事務局
 - イ 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会実行委員会事務局
 - ウ 希望郷いわて国体各競技会場地市町村実行委員会事務局
 なお、日本体育協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

9 棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。

なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10 大会参加負担金

- (1) 本大会に選手団（視察員を除く。）を派遣する都道府県体育協会は、一人当たり次のとおり参加負担金を納入する。

区 分	負 担 金
少年の種別に参加する選手	1, 5 0 0 円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	2, 0 0 0 円

- (2) 大会参加負担金は、各都道府県体育協会でき取りまとめ、次のとおり納入する。

ア 納入期限

平成 28 年 9 月 1 日（木）

イ 納入先

みずほ銀行 渋谷支店 普通預金口座 513729

公益財団法人日本体育協会

11 宿泊申込

大会参加者は、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込み。

12 都道府県選手団本部役員編成及び視察員

- (1) 都道府県選手団本部役員は、次のとおりとする。

ア 参加選手 500 名以上の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 20 名以内とする。

イ 参加選手 300 名以上 500 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 15 名以内とする。

ウ 参加選手 300 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 10 名以内とする。

- (2) 上記役員のほか、5 名以内の顧問を設けることができる。

- (3) 上記(1)及び(2)による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。
なお、帯同するスポーツドクターは日体協公認スポーツドクター資格を有する者とする。

- (4) 上記(1)及び(2)による本部役員総数の範囲内で、アスレティックトレーナーを帯同できる。
なお、帯同できるアスレティックトレーナーは日体協公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。

- (5) 都道府県選手団本部役員の 1 日あたりの編成人数については、上記(1)及び(2)による人数を上限とする。

- (6) 視察員は、1 都道府県 3 名以内とする。ただし、平成 29 年以降の国民体育大会の開催が決定又は内定している県については、愛媛県 100 名以内、福井県及び茨城県 60 名以内、鹿児島県及び三重県 40 名以内とする。

- (7) 都道府県選手団本部役員及び視察員の参加申込は、平成 28 年 9 月 1 日（木）までに国民体育大会参加申込システムにより行う。

13 大会参加章、大会参加記念章及び視察員章の交付

大会参加章、大会参加記念章及び視察員章は、次の者に交付する。

- (1) 大会参加章

都道府県選手団本部役員、監督及び選手並びに大会役員、競技会役員及び競技役員

- (2) 大会参加記念章
公開競技・デモンストレーションスポーツ参加者
※ 公開競技参加者への交付は、中央競技団体との協議による。
- (3) 視察員章
視察員

14 参加上の注意

- (1) 大会期間中は、交付された大会参加章、大会参加記念章又は視察員章を携帯しなければならない。
- (2) 各都道府県の代表選手は、競技に際し、所属都道府県を明示したユニフォームを着用しなければならない。

15 個人情報及び肖像権に関わる取り扱い

日本体育協会、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会実行委員会、希望郷いわて国体各競技会場地市町村実行委員会及び国民体育大会実施競技中央競技団体（以下「国体関係機関・団体」という。）は、参加申込等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応するものとする。

(1) 個人情報の取り扱い

ア 利用目的

大会参加申込として国民体育大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国体関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ 公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

- (ア) 総合プログラム及び競技別プログラムへの掲載
- (イ) 競技会場内におけるアナウンス等による紹介
- (ウ) 競技会場内外の掲示板等への掲載
- (エ) 大会関連ホームページへの掲載

ウ 競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

- (ア) 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会実行委員会が設置する記録本部を通じた公開
- (イ) 国体関係機関・団体及び報道機関等による新聞・雑誌及び関連ホームページ等への掲載
- (ウ) 国体関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載
- (エ) 次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等】

(2) 肖像権に関する取り扱い

ア 写真

国体関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがある。

イ 写真（写真撮影企業等）

国体関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

ウ 映像

国体関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットによって配信されることがある。また、DVD等に編集され、販売・配付されることがある。なお、各競技における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

(3) 対応

ア 承諾の確認

大会参加申込として国民体育大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。

イ 役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国体関係機関・団体と大会に関する契約をしている者及び大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

16 都道府県大会及びブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

- (1) 都道府県の主催団体は、必要に応じて日本体育協会及び中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。

なお、日本体育協会及び中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

- (2) 都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。

- (3) 参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込み。なお、参加は1人1競技に限る。

- (4) ブロック大会の申込みは、原則として国民体育大会参加申込システムにより行い、様式は日本体育協会及び当該主催団体が協議の上、作成する。

なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。

- (5) 都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。

- (6) 参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。

- (7) 競技運営に差し支えない限り、岩手県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

17 国民体育大会参加者傷害補償制度

日本体育協会及び都道府県体育協会は、国民体育大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民体

育大会参加者傷害補償制度を運営する。

- (1) 本制度の対象となる参加者は、ブロック大会及び本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員(顧問を含む)、視察員並びにその他選手団役員とする。
- (2) 大会参加の都道府県体育協会は、国民体育大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金(一人あたり1,000円)を、日本体育協会に納入する。
- (3) 納入締切日及び納入先については別途日本体育協会から都道府県体育協会へ通知する。

18 文化プログラム

文化プログラムは、次表のとおりとし、実施については、「文化プログラム実施基準」に基づくものとする。

平成 28 年 3 月 3 日現在

文化プログラム	会場地
飾り棚展示「読む国体」	盛岡市
展示室／プラネタリウム室	
テーマ展「七福神でめでたづくし(仮)」	
企画展「盛岡の指定文化財～未来へのおくりもの～」	
盛岡市都南歴史民俗資料館 常設展	
盛岡てがみ館 第49回企画展「女性のがみ～芸術の世界に生きて～」	
常設展 (深澤紅子野の花美術館)	
マンガ郷いわて大会(いわてマンガプロジェクト)	
岩手県立美術館 常設展	
盛岡市遺跡の学び館 常設展	
岩手県立博物館 常設展	
農業教育資料館 (旧盛岡高等農林学校本館)の観覧	
冬休み!古代体験ひろば	
岩手県立博物館 特別展「発掘された日本列島2015展」	
いわてアートプロジェクト2016 鈴木周作 ブルートレインと三陸鉄道展	
いわてアートプロジェクト2016 長友心平作品展～新しい世界と溢れ出すアート～	
「希望郷いわて復興写真館～感謝を込めて、復興の今を伝えたい～」	
いわてアートプロジェクト2016 かわぐちまどか作品展 ～死と彼女とぼく～	
いわてアートプロジェクト2016 Chie 作品展 ～光の中へ～	
「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」記念 まるごと芸術体験フェスタ in 県民会館	
南昌荘のひなまつり	
平成27年度 遺跡報告会	
第33回埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘するー平成27年度調査速報ー」	
テーマ展「ひな人形展」	
いわてアートプロジェクト2016 さいとうゆきこ展	
岩手県立美術館 企画展	

文化プログラム	会場地
日報リーダーズサークル 盛岡例会	盛岡市
平成 27 年度調査成果報告会	
特別展「大島高任の挑戦」	
盛岡市中央公民館重要文化財 旧中村家住宅公開事業	
盛岡市先人記念館常設展示	
所蔵資料展 (原敬記念館)	
常設展 (原敬記念館)	
盛岡てがみ館 常設展	
テーマ展「五月人形展」	
平成 28 年度盛岡市先人記念館収蔵資料展「平成 27 年新収蔵資料展」	
第 5 回石川啄木記念館企画展「啄木の妻節子」	
企画展「盛岡藩主南部家の興亡ー草創期ー(仮)」	
ゴールデンウィーク！古代体験ひろば	
テーマ展「盛岡藩の鉱山」(仮称)	
テーマ展「盛岡の縄文時代中期のムラ」(仮)	
企画展「国立科学博物館コラボミュージアム 古生代の大量絶滅と回復」	
盛岡てがみ館 第 50 回企画展「盛岡の先人たちの手紙」	
東日本大震災復興支援 未来絵 PROJECT 巡回展 「絵のちからー婁正綱、ビートたけし、ダグ・ウェブ」	
第 55 回企画展「選挙にいこう！」(仮)	
「ゆかたのまち盛岡」キャンペーン	
スペイン国立管弦楽団	
テーマ展「盛岡藩のスポーツ(仮)」	
盛岡市先人記念館 第 55 回企画展 「盛岡スポーツ名士録 ー明治期から昭和 45 年国体までー」	
企画展「岩手のチカラ 南部鉄器」(仮称)	
第 40 回こども絵画コンクール(盛岡展)	
いわてアートプロジェクト 2016 光の絵画展	
いわてアートプロジェクト 2016 長友心平展	
いわてアートプロジェクト 2016 川口まどか展	
いわてアートプロジェクト 2016	
阿部敏勝 写真展～ホセマリア・シシリア・記憶のワークショップ～	
いわてアートプロジェクト 2016 Voices from Japan 展 ～変わらない空～	
いわてアートプロジェクト 2016 いわてマンガプロジェクト展	
いわてアートプロジェクト 2016 長友心平 釜石えがおプロジェクト展	
いわてアートプロジェクト 2016 ANA D'APUZZO 展	
いわてアートプロジェクト 2016 メディアアート展	
いわてアートプロジェクト 2016 長友心平展 ～新しい世界と溢れだすアート～	

文化プログラム	会場地	
岩手県立美術館 企画展 岩手の現代美術家たち展	盛岡市	
いわてアートプロジェクト2016 アーティスト達とのワークショップ		
岩手県立美術館 特別展 障がい者アート展		
平成28年度特別展 「スポーツ博覧会いわて」		
「希望郷いわて復興写真館～感謝を込めて、復興の今を伝えたい～」		
全国スポーツ写真展		
いわて若者文化祭2016		
第15回葛巻高原牧場まつり in 中津川		
第6回石川啄木記念館企画展「啄木と北海道」		
いわてアートプロジェクト2016 Magdalena Sole 高校生公募写真展		
いわてアートプロジェクト2016 中川直人「希望1000人のポートレイト」展		
いわてアートプロジェクト2016 サムライハウス展 FOREVER		
いわてアートプロジェクト2016 Jose Maria Sicilia 展～SANDCASTLE～		
第69回いわて芸術祭		
盛岡市コレクション展		
盛岡市先人記念館 第56回企画展「常磐津林中と盛岡」		
復興応援！もりおか広域まるごとフェア（予定）		
いわてアートプロジェクト2016 NYと岩手をつなぐコンサート～温故知新～		
希望郷いわて@八幡ぼんぼこ市スペシャル vol. 1 ～希望郷いわて国体協賛 ★ 南部盛岡ふるさと祭～		
ソロと室内楽の調べ		
第3回いわて親子フェスティバル in アイーナ		
いわてアートプロジェクト2016 サムライハウス展 想起に導かれて		
企画展「縄文人の精神－盛岡の縄文時代中期の装飾－」（仮）		
第56回企画展「原敬入門」（仮）		
“元祖・はしご酒”八幡はしご酒祭り ～希望郷いわて国体協賛★30周年記念大会～		
希望郷いわて@八幡ぼんぼこ市スペシャル vol. 2 ～希望郷いわて国体協賛★バリアフリーのまち「もりおか八幡」～		
盛岡てがみ館 第51回企画展「文豪たちの原稿展」 （仮称）ニッポンめんサミット in 盛岡		
第31回全日本わんこそば選手権		
テーマ展「盛岡絵暦展」（仮称）		
－漫画界のレジェンド－松本零士展 宇宙戦艦ヤマト・銀河鉄道999		
チームラボアイランドー学ぶ！未来の遊園地ーin 岩手		
宮古市北上山地民俗資料館 常設展		宮古市
大船渡市スポーツ推進委員協議会自主事業（仮）		大船渡市
平成28年度基石海岸観光まつり		
発掘調査からみた震災復興展		

文化プログラム	会場地
ミニ展示「昭和の国体」(仮)	大船渡市
第7回大船渡市こども郷土芸能まつり(仮)	
大船渡市郷土芸能協会60周年記念行事(仮)	
宮野貝塚発掘調査現地説明会	
大船渡市立博物館常設展	
山の駅 昭和の学校	花巻市
宮沢賢治記念館 常設展	
宮沢賢治童話村 常設展	
花巻新渡戸記念館 常設展	
花巻市博物館 常設展	
宮沢賢治イーハトーブ館 常設展	
石鳥谷歴史民俗資料館 常設展	
石鳥谷農業伝承館 常設展	
南部杜氏伝承館 常設展	
高村光太郎記念館 常設展	
花巻市総合文化財センター 常設展	
萬鉄五郎記念美術館 常設展	
「希望郷いわて復興写真館～感謝を込めて、復興の今を伝えたい～」	
日報リーダーズサークル花巻例会	
大迫「神楽の日」	
企画展「新渡戸稲造からの贈り物」	
郷土芸能が語る新渡戸氏	
多田等観展	
発明王 エジソン展	
田瀬湖湖水まつり	
土沢七夕まつり	
大迫あんどんまつり	
イーハトーブフェスティバル	
全国神楽大会ハヤチネ2016	
企画展「新渡戸氏と新田開発」	
花巻まつり	
収蔵資料展 ふれてみる 歴史と暮らし展	
第47回おおはさまワインまつり	
石鳥谷まつり	
土沢まつり	
郷土芸能が語る新渡戸氏	
国際フェア in はなまき	
花巻市共同企画展ぐるっと・花巻「稲造の父・新渡戸十次郎」	

文化プログラム	会場地	
わんこイルミネーション事業	北上市	
農業科学博物館 常設展示		
北上市立鬼の館常設展		
「希望郷いわて復興写真館～感謝を込めて、復興の今を伝えたい～」		
第25回北上市民芸術祭参加 吹奏楽愛好会アンサンブルソノリテ 第17回定期演奏会		
諄子美術館		
北上市みちのく民俗村		
北上平和記念展示館 常設展		
北上市立利根山光人記念美術館		
サトウハチロー記念館・叱られ坊主		
鬼の館 芸能公演		
北上展勝地さくらまつり		
北上吹奏楽団「きたすい第34回スプリングコンサート」		
夏油高原新緑まつり		
夏油温泉かがり火公演		
踊りは絆 大震災復興支援チャリティー舞踊ショー		
企画展「津々浦々、鬼の国ニッポン」		
第40回こども絵画コンクール（北上展）		
北上・みちのく芸能まつり		
平成28年度北上市史編さん室企画展 きたかみの足跡～国体編～		
さくらホールオリジナル盆踊り大会「盆ジュエル大会」		
えづりこ古墳まつり		
北上市立博物館 リニューアル常設展		
北上市立博物館和賀展示室 常設展		
「希望郷いわて復興写真館～感謝を込めて、復興の今を伝えたい～」		
おもてなし街ライブ		
夏油高原紅葉まつり		
サトウハチロー記念第20回「おかあさんの詩」全国コンクール表彰式&記念コンサート（仮称）		
第26回生涯学習市民のつどい 「遊・YOU 学園祭&ワン・ワールド・フェスタ」		
三船久蔵十段資料展示		久慈市
日報リーダーズサークル久慈例会		
絵本コンサート「はなちゃんの はやあるき はやあるき」		
第40回こども絵画コンクール（久慈展）		
北限の海女フェスティバル		
久慈秋まつり		
いわてアートプロジェクト2016 NYと岩手をつなぐコンサート～温故知新～		
平成28年度久慈市民芸術文化祭		

文化プログラム	会場地
山里の暮らし体感	遠野市
遠野市立博物館常設展	
第 41 回市民の舞台 遠野物語ファンタジー	
無料昔話	
夜神楽公演	
平成 28 年度 日本のふるさと遠野まつり	
芦東山記念館 常設展	一関市
酒の民俗文化博物館 文学の蔵 常設展	
日報リーダーズサークル一関例会「野村万作・野村萬斎 狂言の会」	
一関市博物館 常設展・企画展	
第 40 回こども絵画コンクール（一関展）	
気仙大工左官伝承館	陸前高田市
「奇跡の一本松」	
陸前高田復興まちづくり情報館	
うごく七夕まつり	
けんか七夕まつり	
全国太鼓フェスティバル	
釜石市立 鉄の歴史館	釜石市
釜石市郷土資料館 常設展及び企画展示	
日報リーダーズサークル釜石例会【林家たい平釜石寄席】	
第 40 回こども絵画コンクール（釜石展）	
福田繁雄作品展	二戸市
田中館愛橘記念科学館	
二戸歴史民俗資料館 常設展	
なにゃーとよ市	
「希望郷いわて復興写真館 ～感謝を込めて、復興の今を伝えたい～」	
浄法寺歴史民俗資料館 常設展	
薬師堂まつり	
稲庭高原まつり	
天台寺あじさい祭り	
ヒメボタル鑑賞会	
ブルーベリー摘み取り園開園	
金田一温泉まつり	
福田人形まつり	
二戸まつり	
武内神社例大祭	
枋ノ木神社金勢様まつり	
浄法寺まつり神明社例大祭	

文化プログラム	会場地	
うるしまつり	二戸市	
トリコロールフェスタ in なにゃーと		
味の味覚フェスタ		
金田一温泉観光りんご園収穫祭		
八幡平市博物館常設展	八幡平市	
八幡平市西根歴史民俗資料館常設展		
「希望郷いわて復興写真館～感謝を込めて、復興の今を伝えたい～」		
いわてアートプロジェクト2016 そのだつくし展		
松尾鉦山資料館 常設展	奥州市	
歴史公園 えさし藤原の郷		
奥州市埋蔵文化財調査センター 常設展		
後藤新平記念館 常設展		
奥州市武家住宅資料館常設展	奥州市	
奥州市 牛の博物館 常設展		
平成 28 年「どんと祭」		
後藤新平記念館 平成 27 年度第 3 回企画展 「写真と画でみる新平の素顔（仮題）」		
黒石寺蘇民祭		
第 15 回くくり雛まつり		
江刺桜まつり		
えさし蔵まち「水曜日」		
日高火防祭		
第 60 回水沢商人まつり		
えさし蔵まちモール「屋台村」		
第 16 回えさし「蔵まち市」		
奥州水沢夏まつり「街中イベント」「奥州水沢の花火大会」		
江刺夏まつり（七夕まつり、みちのく盂蘭盆まつり）		
えさし蔵まち「水曜日感謝祭」		
第 28 回奥州水沢グルメまつり		
いわさ商工秋まつり		
第 15 回衣川まるごと市場		
平成 28 年度鞍掛山山開き		滝沢市
チャグチャグ馬コ		
平成 28 年岩手山山開き		
第 34 回滝沢市産業まつり		
岩手県立大学大学祭 IPU Festa 2016	雫石町	
小岩井農場資料館 常設展		
雫石町歴史民俗資料館 常設展		
ガイド付きツアー「小岩井農場物語」		

文化プログラム	会場地
雫石川にこいのぼりを泳がせよう掲揚事業	雫石町
第 32 回岩手山ろくファミリーマラソン	
駒ヶ岳山開き	
第 27 回フラワーロード一斉植栽	
岩手山山開き	
第 16 回南部よしやれ全国大会	
第 46 回雫石よしやれ祭り	
雫石町御明神夏まつり	
2016 雫石地産食楽部 in NEW WING	
しずくいし産業まつり	
第 52 回雫石町総合芸術祭	
第 59 回雫石町無形文化財芸能祭	
第 4 回戸沢サミット	
第 20 回くずまき高原牧場まつり	
岩手町小中学校・高校絵画コンクール作品展	岩手町
岩手県立沼宮内高等学校 美術部・書道部合同展	
第 17 回音を楽しむ会定期演奏会	
岩手町町制施行 60 周年記念「三遊亭小遊三 寄席公演」	
常設展（屋外展示）	
岩手町郷土芸能スケッチと岩手のポスター展	
企業コレクションによる近代洋画展（仮）	
園井恵子没後 70 年 戦災と震災を結ぶ命と夢のかけ橋公演 「残花－1945 さくら隊 園井恵子－」岩手町公演	
North Wind project 小林志保子、杉本さやか、たんのそのこ（仮）	
石神の丘美術館 ラベンダーフェア	
道の駅 石神の丘 開業 14 周年記念感謝祭	
平成 28 年度 里川キャンプ	
北緯 40 度展（仮）	
第 22 回岩手町夏まつり	
岩手町ホッケーの歴史展	
川口秋まつり	
眞壁 廉 彫刻展	
岩手町秋まつり	
第 36 回岩手町産業まつり	
第 55 回岩手町芸術祭（展示部門）	
第 55 回岩手町芸術祭（舞台部門）	
平成 28 年度岩手町郷土芸能発表会	
紫波町まるごと書きくけコンクール	紫波町

文化プログラム	会場地
第 45 回紫波夏まつり	紫波町
紫波町芸術祭舞台部門	
第 33 回紫波町産業まつり	矢巾町
矢巾町歴史民俗資料館 常設展	
碧祥寺博物館 常設展	西和賀町
西和賀町立川村美術館・デッサン館 常設展	
金ヶ崎町城内諏訪小路重要伝統的建造物群保存地区内の侍住宅公開	金ヶ崎町
金ヶ崎町要害歴史館の観覧	
千田正記念館の見学	
毛越寺 宝物館	平泉町
平泉文化遺産センター 常設展	
平泉・一関国際音楽祭	
秘佛「一字金輪佛頂尊」御開帳	
本堂法話	
住田町民俗資料館 常設展	住田町
大槌町郷土芸能祭	大槌町
復興やまだ写真館（震災前～復興への歩みパネル展示会）	山田町
岩泉町歴史民俗資料館 常設展	岩泉町
三陸海岸探訪ハイキング	
郷土芸能祭	
田野畑村民俗資料館 常設展	田野畑村
鶴鳥神社例大祭	普代村
2016 海フェスタ in ふだい	
ふだいまつり	軽米町
軽米町歴史民俗資料館 常設展示	
アジア民族造形館 常設展	野田村
ふるさと創造館・常設展示	九戸村
オドテ塾夏祭り 盆踊り大会	
九戸まつり	
第 27 回戸田かぼちゃまつり	
おおのキャンパス一人一芸交流祭	洋野町
久慈平岳山開き	
たねいちウニまつり	
種市夏まつり	
北奥羽ナニャドヤラ大会	
第 11 回洋野町農業祭	
洋野町文化祭	
御所野縄文博物館 常設展	一戸町

文化プログラム	会場地
夢あかり	一戸町
ニューイヤージャズライブ	
藤島のフジまつり	
一戸町産業まつり	
第16回 旧朴館家住宅 神楽公開	
サクソフオーン四重奏コンサート	
県北一戸美術展	
AGUDO・KAZURU (アグド・カズル)	
縄文の里 いちのへナニヤトヤラ踊り	
一戸まつり	
小鳥谷まつり	
第39回一戸町郷土芸能祭	
平成28年度 発掘調査現地説明会	
「希望郷いわて復興写真館～感謝を込めて、復興の今を伝えたい～」	

※会場地数は、14市15町4村

19 公開競技

公開競技は、次表のとおりとし、実施については、「国民体育大会公開競技実施基準」に基づく実施要項による。

公 開 競 技	会 場 地
綱引	花巻市
ゲートボール	花巻市
パワーリフティング	平泉町
グラウンド・ゴルフ	大船渡市

20 デモンストレーションスポーツ

デモンストレーションスポーツは、次表のとおりとし、実施については、「国民体育大会デモンストレーションスポーツ実施基準」に基づく実施要項による。

デモンストレーションスポーツ	会 場 地
ビリヤード	盛岡市
武術太極拳	盛岡市
シーカヤックマラソン	宮古市
ウォーキング	大船渡市
マラソン	大船渡市
リレーシヨン3	花巻市
エアロビック	北上市
ヒルクライム	北上市
フライングディスク	ディスクゴルフ アルティメット
ペタンク	北上市
スポーツ吹矢	一関市
バウンドテニス	一関市
ビーチバレー	陸前高田市
オリエンテーリング	八幡平市
ダンススポーツ	滝沢市
3B体操	雫石町
ネオホッケー	葛巻町
少年少女ホッケー	岩手町
スポーツチャンバラ	矢巾町
ラジオ体操	矢巾町
室内雪合戦	西和賀町
インディアカ	平泉町
クッブ	住田町
ソフトバレーボール	大槌町
マレットゴルフ	田野畑村
ウォークラリー	野田村
サーフィン	洋野町
パークゴルフ	洋野町
ターゲット・バードゴルフ	一戸町

※会場地数は9市、10町、2村

21 その他

- (1) 参加申込及び宿泊申込が、定められた締切日までに行われない場合、又は、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。
- (2) その他の事項については、国民体育大会開催基準要項及び同細則による。